



セブン銀行

平成29年3月期
第2四半期（中間）決算説明資料

平成28年11月

ハイライト	2頁	インドネシア子会社・国内子会社	9頁
損益状況【単体】	3頁	損益状況【連結】	10頁
ATM利用件数と受入手数料単価の推移	4頁	財務の状況【単体】・配当政策	11頁
ATM台数と平均件数の推移	5頁	中期成長戦略【骨子】	12頁
口座サービス ①	6頁	中期成長戦略 ①	13頁
口座サービス ②	7頁	中期成長戦略 ②	14頁
北米子会社	8頁	中期成長戦略 ③	15頁

※決算発表資料は、当社Webサイトからもご覧いただくことができます。
(<http://www.sevenbank.co.jp/ir/library/presentation/>)

本資料には、株式会社セブン銀行、及びその連結子会社の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATM事業及び金融サービス事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社、及びその子会社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。

2016年度中間決算

【単体】

■ 当第2四半期は、前年同期比**増収増益**

- ・ ATM事業の堅実な推移により、経常収益・経常利益は増加
- ・ ATM利用件数等、ほぼ計画通りの進捗
- ・ 口座サービスも堅調に推移、新たなサービスの開発に傾注

【連結】

■ 当第2四半期は、前年同期比**増収増益**

2016年度の見通し

■ 「単体」「連結」共に**通期計画の変更無し**

- ・ ATM利用件数の増加策、新口座サービスの認知向上策を徹底
- ・ 上記施策に加え、コストコントロールを実施し通期計画（増収増益）を達成

損益状況【単体】

(単位：億円)

	15年度 通期実績		16年度 上期実績		前年差異	16年度 計画	
	上期		上期			上期	
経常収益	1,104	553	568	15	1,138	571	
うちATM受入手数料	1,022	514	523	9	1,042	525	
経常費用	714	355	367	12	743	368	
うち資金調達費用	12	6	4	△2	10	5	
うちATM設置支払手数料	127	63	69	6	140	71	
うち業務委託費	176	88	89	1	180	90	
うち保守管理費	39	19	20	1	38	19	
うち土地建物機械賃借料	9	4	4	0	9	4	
うち減価償却費	174	86	86	△0	178	86	
経常利益	390	198	200	2	395	202	
特別損益	△1	△0	△0	△0	△1	△0	
法人税等合計	128	65	61	△4	121	62	
純利益	261	132	138	6	272	139	
EBITDA	564	284	286	2	573	288	
期末ATM設置台数 (台)	22,472	21,779	23,029	1,250	23,500	23,000	
ATM受入手数料単価 (円)	133.6	133.8	133.1	△0.7	133.0	133.1	
平均利用件数 (件/台/日)	98.8	100.7	97.0	△3.7	95.8	97.3	
総利用件数 (百万件)	782	393	401	8	800	403	

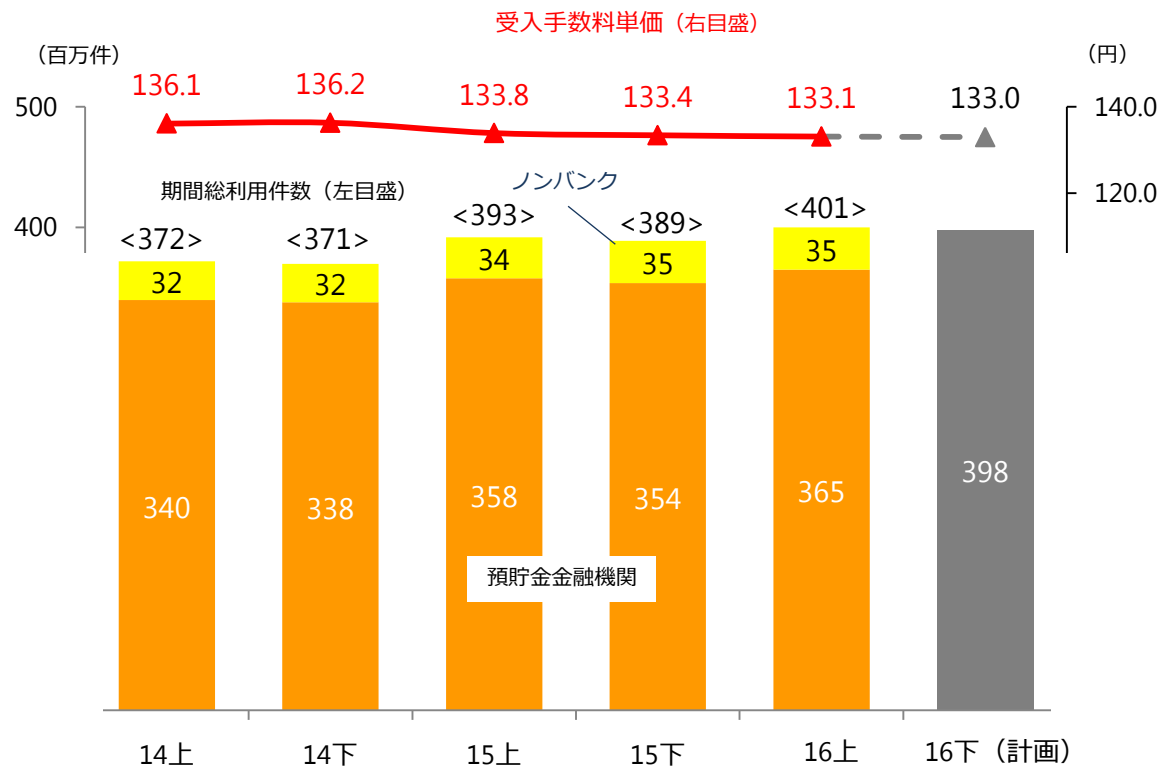
注1) 計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 前年差異は億円単位 (総利用件数は百万件単位) で比較

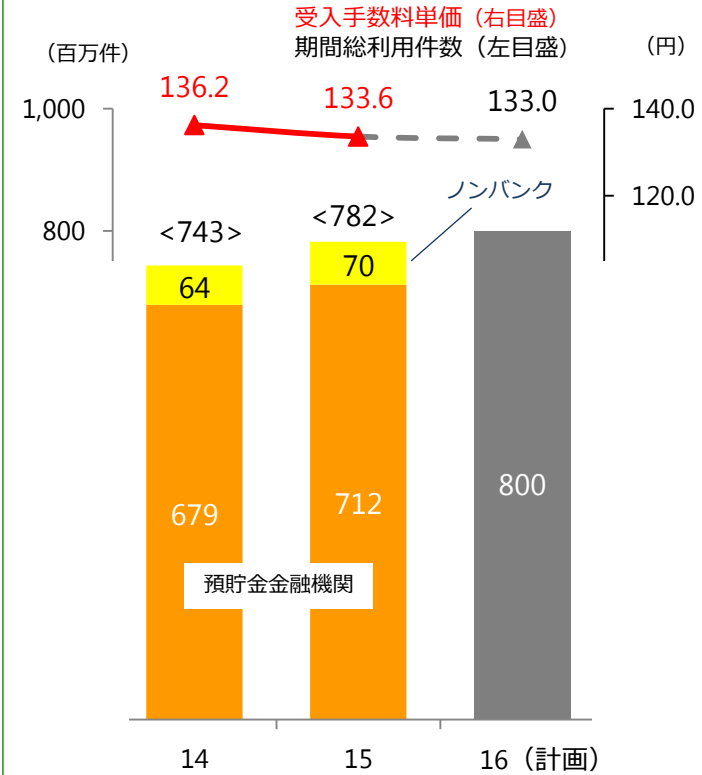
注3) EBITDA = 経常利益 + 減価償却費

ATM利用件数と受入手数料単価の推移

半期推移



年度推移



注1) 総利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず

注2) ATM受入手数料単価は、ATM受入手数料÷(総利用件数-ATM受入手数料収入を伴わない利用件数<売上金入金等>)で算出

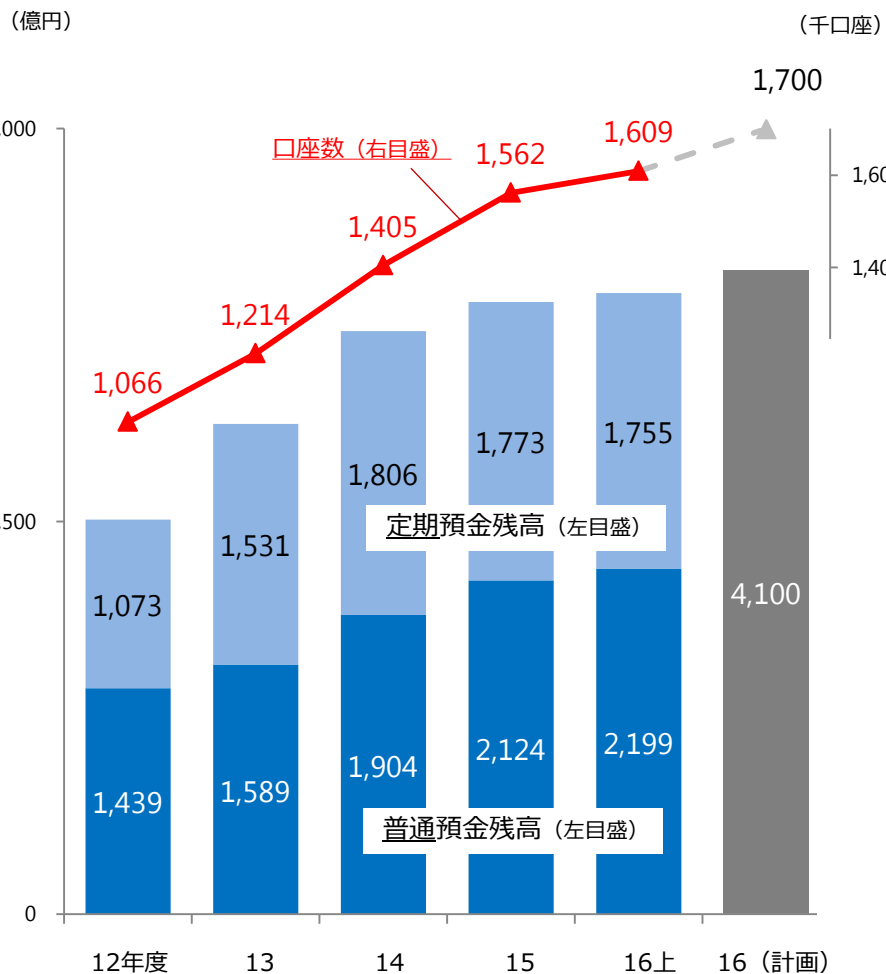
注3) ノンバンクは、証券会社、生命保険会社、クレジット会社、信販会社、消費者金融会社、海外カード等の合計

ATM台数と平均件数の推移

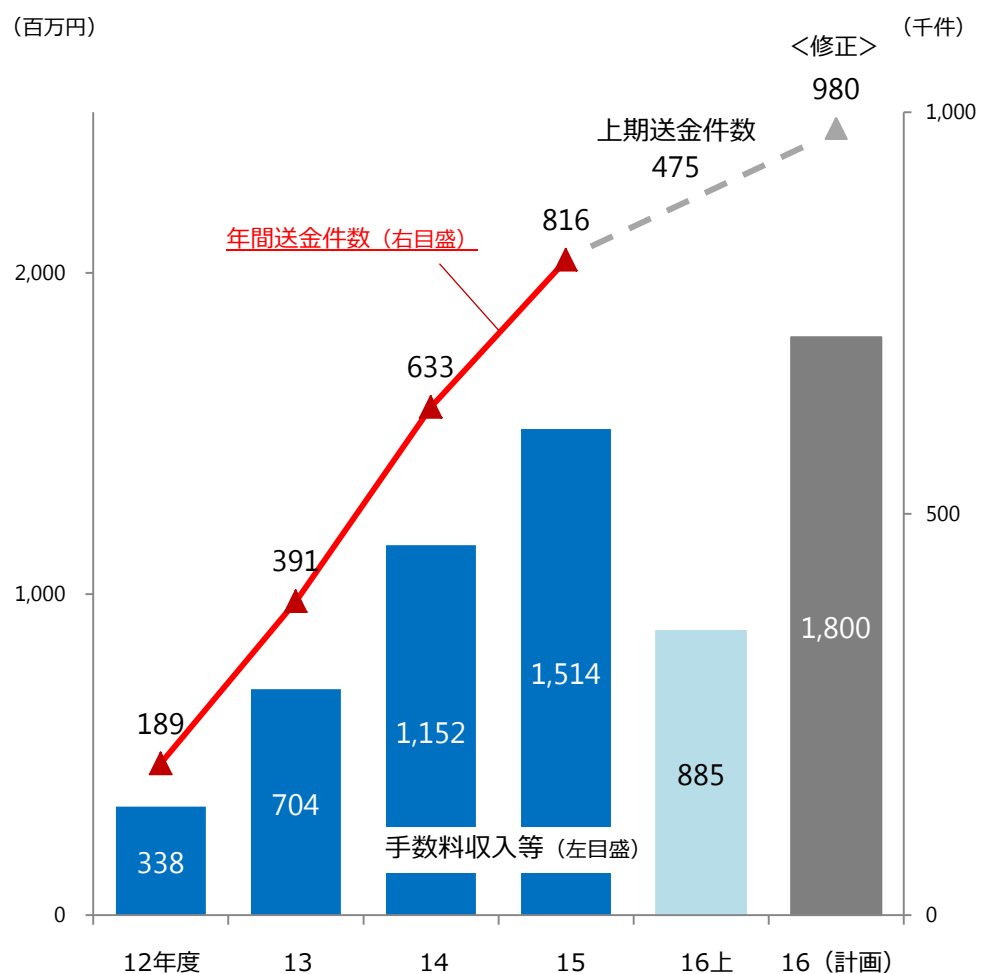


注) 平均利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず

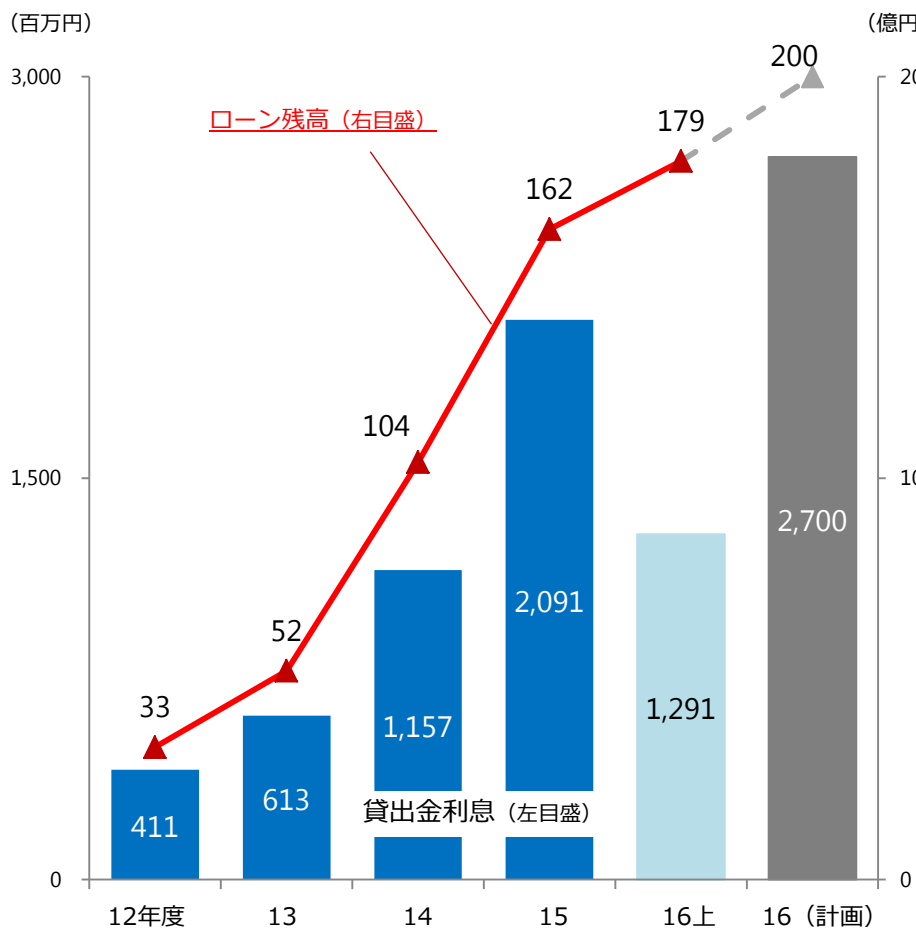
個人の口座数と預金残高



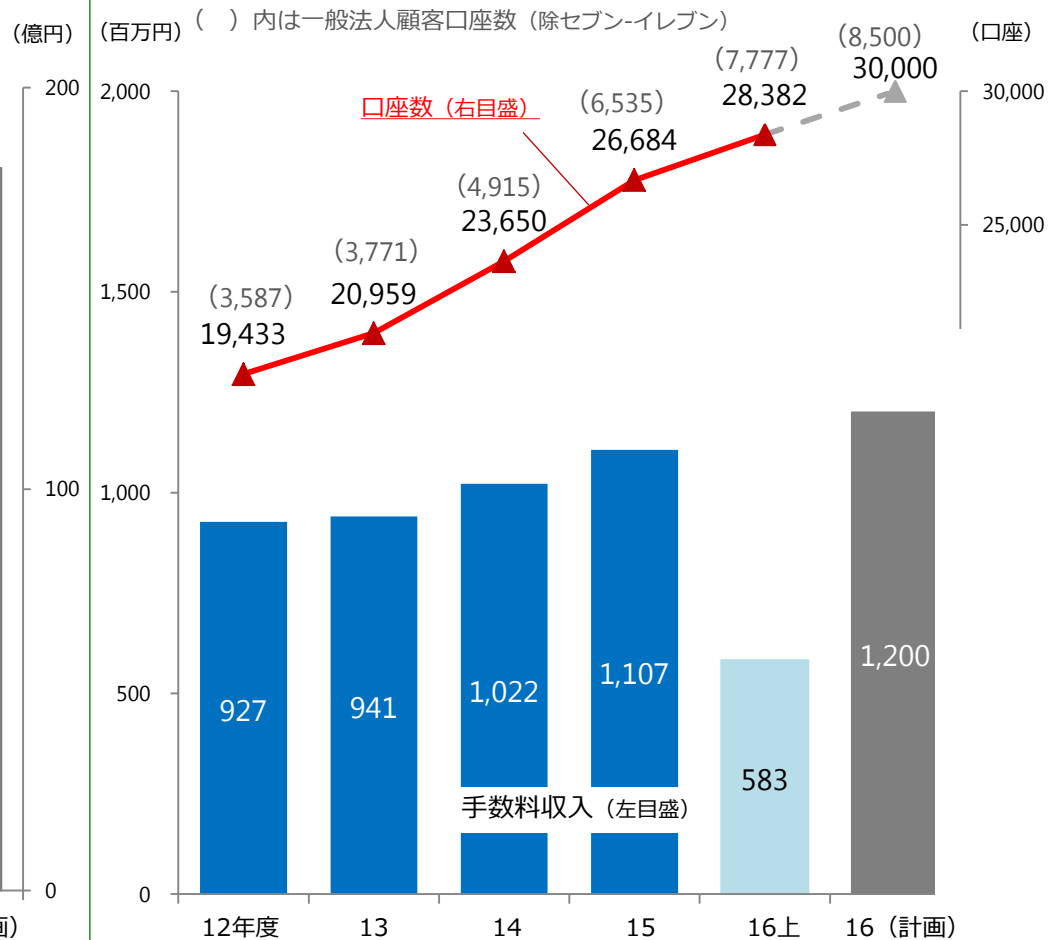
海外送金サービス



個人向けローンサービス



売上金入金サービス



北米子会社

- FCTI, Inc.
 - ・ 競争環境激化、不採算ATM整理・コスト見直しによる効率運営継続
 - ・ セブン-イレブン店舗へのATM設置準備に全力傾注

(単位：百万米ドル)

FCTI 単体	15年度 通期実績		16年度 上期実績 (1月-6月)		16年度 計画	
	上期(1月-6月)	前年差異	上期(1月-6月)	前年差異	上期(1月-6月)	前年差異
経常収益	78.5	38.9	38.9	0.0	79.8	38.8
経常費用	80.6	39.8	40.9	1.1	82.0	40.4
経常利益	△2.0	△0.8	△1.9	△1.1	△2.1	△1.6
純利益	△1.5	△0.6	△1.3	△0.7	△1.6	△1.1
EBITDA	4.4	2.3	1.5	△0.8	5.0	1.8
ATM台数(台)	6,625	6,348	6,437	89	6,700	-

注) 2016年9月末のATM台数は6,267台

インドネシア子会社

- PT.ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONAL
(ATMi: アバディ タンバ ムリア インターナショナル)
- ・ ATM設置台数は100台 (2016年9月末)
現地金融機関からのATM運営受託をめざす

ATMi 単体

(単位: 百万円)

	15年度 通期 実績		16年度 上期 実績		16年度 計画	
	上期 (1月~6月)	前年 差異	上期 (1月~6月)	前年 差異	上期 (1月~6月)	上期
経常収益	14	2	23	21	85	27
経常費用	62	16	66	50	273	107
経常利益	△47	△13	△42	△29	△188	△79
純利益	△38	△9	△27	△18	△164	△69

国内子会社

- 株式会社バンク・ビジネスファクトリー
(BBF: Bank Business Factory)
- ・ 外部事務受託先は5社 (2016年9月末)
ニーズに応じ受託業務範囲拡大を検討

BBF 単体

(単位: 百万円)

	15年度 通期 実績		16年度 上期 実績		16年度 計画	
	上期	前年 差異	上期	前年 差異	上期	上期
経常収益	687	328	403	75	790	375
経常費用	646	308	406	98	774	368
経常利益	40	19	△3	△22	16	7
純利益	29	14	△3	△17	11	5

注) 為替レート:100インドネシアルピア

2015年度実績=0.905円、2016年度上期実績=0.832円、2016年度計画=0.900円

- 当第2四半期は、前年同期比**増収増益**
- 成長投資を継続しつつ、**通期計画の達成**めざす

(単位：億円)

	15年度 通期実績		16年度 上期実績		16年度 計画	
		上期		前年差異		上期
経常収益	1,199	600	612	12	1,231	616
経常費用	827	410	421	11	855	423
経常利益	371	189	190	1	376	193
純利益	247	127	129	2	256	131

注1) 連結損益の為替レート

:1米ドル

2015年度実績 = 121.10円、2016年度上期実績 = 111.70円、2016年度計画 = 115.00円

:100インドネシアルピア

2015年度実績 = 0.905円、2016年度上期実績 = 0.832円、2016年度計画 = 0.900円

注2) 連結の純利益は親会社株主に帰属する当期（中間）純利益

《 各社連結対象期間 》

セブン銀行	2016年4月1日	～	2016年9月30日
FCTI	2016年1月1日	～	2016年6月30日
ATMi	2016年1月1日	～	2016年6月30日
BBF	2016年4月1日	～	2016年9月30日

貸借対照表 (2016年9月末)

(単位：億円)

現金預け金 6,817 (ATM装填用 等)	預金 5,614 (個人預金 3,955)
	社債・借入金 1,240
有価証券 769	ATM仮受金 372 その他 333
ATM仮払金 926	
その他 963	純資産 1,916
資産 9,475	負債+純資産 9,475

単体自己資本比率 (国内基準) 55.94% (速報値)
 格付 S&P A+
 R&I AA

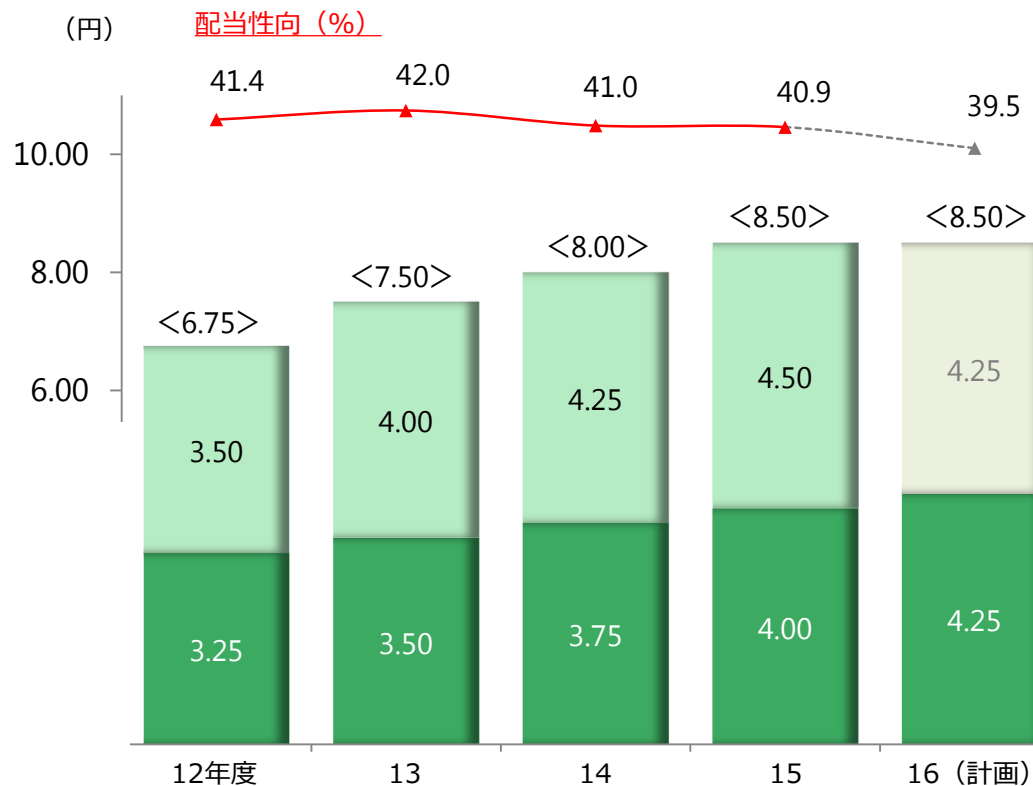
方針

連結配当性向年間35%を最低目標に、年2回の配当を実施

中間配当

配当金額 : 1株当たり4.25円 (配当総額50億円)

支払開始日 : 2016年12月1日



1. ATMプラットフォーム事業

規模・品質ともにリテール金融No.1を目指す

2. 決済・口座関連事業

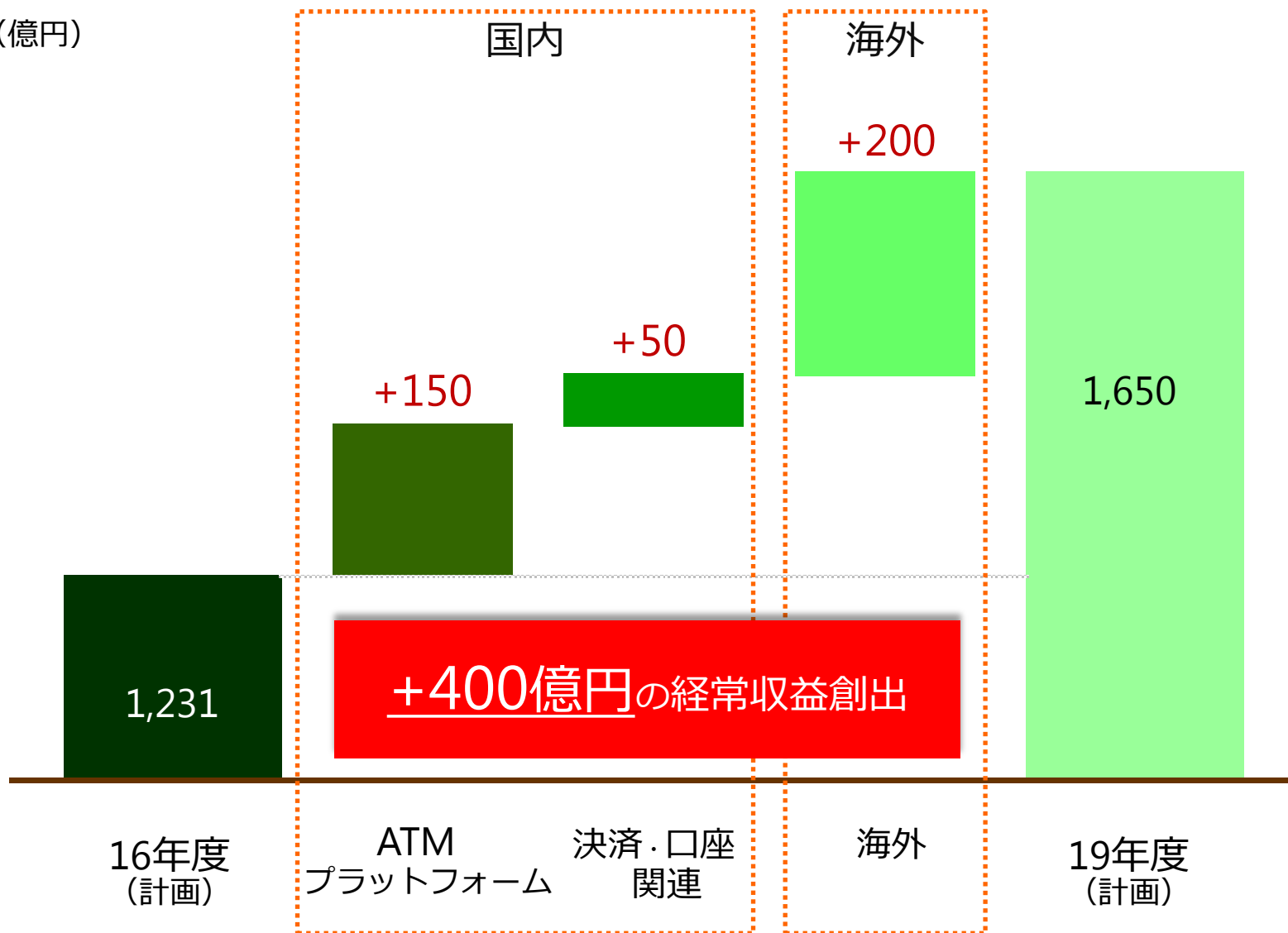
新時代の魅力ある商品を開発・提供

3. 海外事業

まずは米国事業の成功に全力傾注

経常収益

(億円)



2019年度経常収益
+150億円

ATMプラットフォーム事業

- お客さまニーズや社会の変化に対応した多種多様なサービスの場を提供

既存提携先
金融機関

拡大

新たに金融サービスに
参入した事業会社との提携

- ・預金口座取引・振込・送金・海外送金
- ・ローン・少額投資・ポイント付与
- ・各種給付・収納代行・返品、返金
- ・チャージ（電子マネー、プリペイドサービス）等

ATMプラットフォーム

規模・品質ともに更に充実

年間純増1,000台ペースを継続
カード、スマホ、顔認証、QRコード等

決済・口座関連事業

- ローンサービス
 - ・貸付残高1.5倍の**300億円**へ
- 海外送金サービス
 - ・送金件数1.5倍の**150万件/年**へ
- デビットサービス
 - ・累計発行枚数を総個人口座数の25%**60万枚**へ
- 売上金入金サービス
 - ・契約口座数+2,000口座の**10,000口座** (除セブン-イレブン) へ

2019年度経常収益
+50億円

■ 開発中 (2017年秋 開始予定)

新しい給与・経費受取
スタイルをサポート

24時間365日
リアルタイム振込機能

海外事業

- 米国ATM事業の拡大
 - ・ATM設置と共に新サービス開発・コスト削減に取り組む

2019年度経常収益
+200億円

